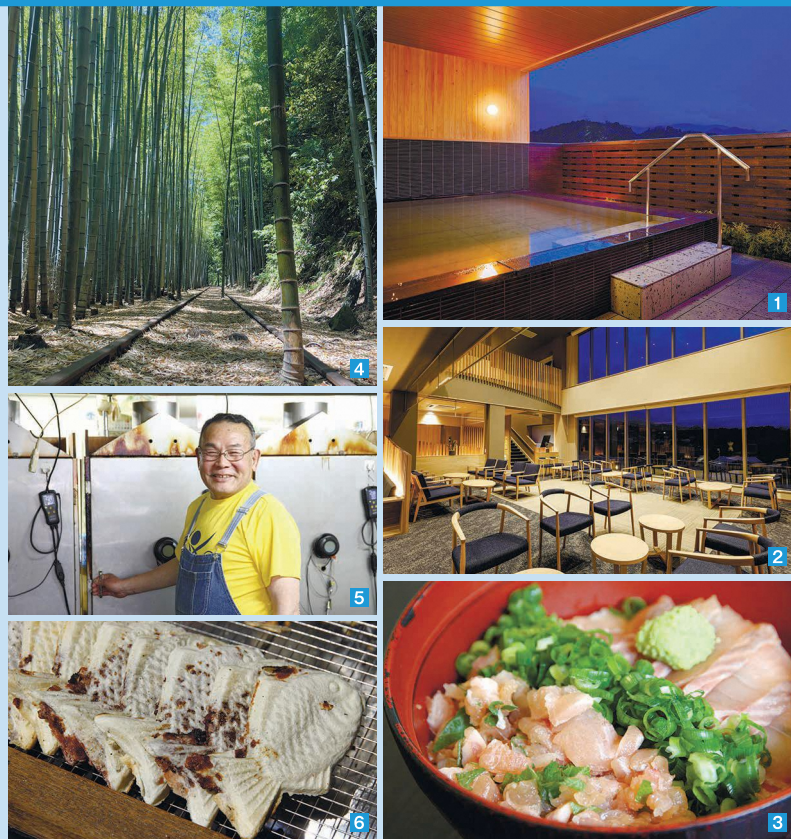


温泉、星空観察、ウォーキング 夏の鳥取でゆつくり過です

鳥取砂丘や名峰・大山(だいせん)、人気マンガの作者ゆかりの地などに比べると、ここで紹介する関金せきがね地区(倉吉市関金町)は、鳥取観光における定番とは呼べないかもしれません。しかし今夏は、あまり知られていない場所だからこそ、普段の旅行とはひと味違う感動を求めて出掛けませんか。そのとき、ゆつくり過すことを旅のテーマに加えて。

企画・制作／中日新聞メディアビジネス局



1・2.「HOTEL星取テラスせきがね」の大浴場露天風呂とロビー。3.関金温泉の日帰り入浴施設「せきがね湯命館」内の白金食堂で味わえる「関金いわな鉄火丼」(税込み1078円)。4.旧国鉄倉吉線廃線跡の竹林エリア。倉吉観光MICE協会が実施日限定で約5kmを歩くウォーキングイベントも開催している。5.青木利晴さん。店内では燻製料理も振る舞っている。6.倉吉白壁土蔵群の散策時のお供にしたい米澤たいやき店の「白いたいやき」(税込み140円)

話題の宿泊施設で星空観察

大山の東側、鳥取と岡山をまたぐ連山「蒜山三座(ひるぜんさんざ)」の北に位置する関金地区は、湧き水がワサビを育み、イワナが川を泳ぎ、夏はホテルも舞う、いわば清流の里。江戸時代には宿場町(関金宿)や湯治場(関金温泉)として栄えたそう、現在のはのかな温泉保養地です。

温泉といえば鳥取県内にある10カ所の温泉地の中で、関金温泉の規模は大きくありませんが、いで湯は免疫力の向上も期待できるラジウム含有量が国内有数。今も変わらず湯治客が訪れます。

そんな山あいの名湯に「HOTEL星取(ほしとり)テラスセ

源泉の音も心地良い露天風呂やロウリュ式サウナが楽しめる他、愛犬と一緒に泊まれる部屋計4室は、プライベートドッグラン

まであります。「夜は天体望遠鏡(利用無料)でゆつくり星空を「観てください」とは、宮本立史(りゅうし)支配人。環境省による星空調査で日本一になったことのある同県が、星空保全地域に指定する関金の夜空は、旅の欠かせないエッセンスです。

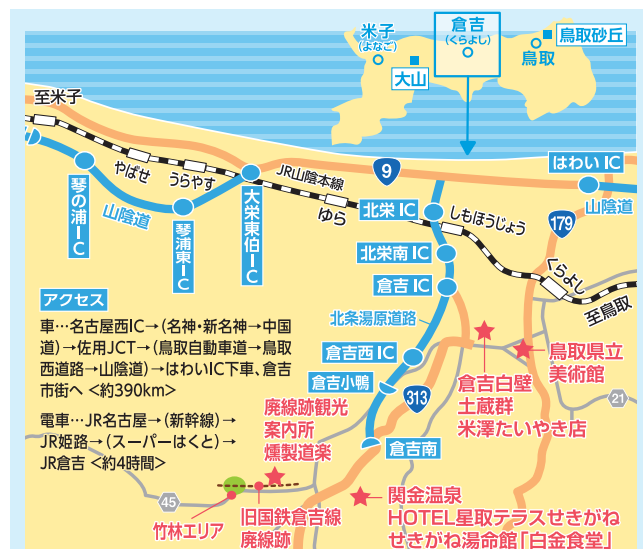
日本一美しい廃線跡を歩こう

関金地区が位置する県中部の代表的な観光スポットも押さえておきましょうか。倉吉白壁土蔵群は、赤い石州瓦の白壁土蔵、格子窓の商家などの古い町並みが素敵な散策スポット。鳥取県立美

術館は今春オープンした話題の施設ですが、どちらも関金同様にゆつくりと過ごせます。関金地区に話を戻すと、SNSなどで「日本一美しい廃線」と称される旧国鉄倉吉線廃線跡は屈指の観光資源です。1985年に廃止された倉吉線(約20km)のレールやホームが今も残る線路は立ち入り自由、ウォーキングを楽しむ人も少なくありません。例えば、廃線跡観光案内所(関金町泰久寺77-1)から通称・竹林エリアまでは1.2km。しばらく歩くと人里を離れ竹林に覆われた区間に入り、その中をレールが延びる、息をのむような空間が広がっていました。木漏れ日を揺らす風に竹の葉がすれ合う音が重なり、なお幻想的。レールの間から2本の竹が伸びる、現役路線ではありえない風景は必見です。

廃線跡観光案内所の隣りに、燻製(くんせい)商品の店がありました。店名は「燻製道楽」。倉吉出身の青木利晴さんが定年退職後、趣味が高じて始めた店で、肉や魚、チーズ、調味料など、多彩な燻製を提供しています。時間や温度にもこだわった香りと風味は関金印。ウォーキングの後には、青木さん自慢のタマゴの燻製で栄養補給を。

きがね(関金町関金宿1397)がオープンしました。旧国民宿舎を改築した同ホテルは、新館にあたる全13室をユニバーサルデザインで設計。車いす利用も想定した引き戸の入り口や段差の解消など、高齢者や障害者への配慮も万全です。大浴場にも車いすで入浴でき、入浴用昇降機の設置も可能とか。また、湧出する



鳥取県名古屋代表部
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階
TEL.052-262-5411
https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/
鳥取県の観光情報は
こちらから

鳥取県は大阪・関西万博
関西パビリオン「鳥取ゾーン」に出展中

会場内に「鳥取無限砂丘」が出現! 本物の鳥取砂丘の砂を敷き詰めた鏡張りの空間で、無限に広がる砂丘空間を体験することができます。